

Madoka Oshikane

押鐘まどか

女子美術大学付属高校でテキスタイルに目覚め、多摩美術大学で染織デザインを専攻。フジエテキスタイルでテキスタイルデザイナーのキャリアをスタートし、デザイン事務所を経て独立。多くの国内インテリアブランド、欧米のテキスタイルエディターのファブリック製作に携わる一方、マニユファクチュアとマスプロダクトの接点を探りながら、自身のテキスタイルの制作を続ける。[×+テキスタイル]をコンセプトに、色柄だけではなく、素材に織・編・染・縮絨、テキスタイルのさまざまな技法をかけあわせ、生命力あふれる自然界からインスパイアされたデザインテキスタイルを制作。上質で五感をくすぐるような製品を展開。

photo / Atsuo Hashimoto

graphic design / Haruka Takase

wear design / Mayumi Kawahara

display design / Kunikazu Hamanishi

Case gallery

1st.voyage

## テキスタイルの箱舟

Madoka Oshikane Textile Exhibition



---

## テキスタイルの箱舟

ふわふわ、ガサガサ、手触りを想像する言葉はいくつあるだろう。テキスタイルはテクスチャー、色柄だけでなく素材や技法から多様性が生まれます。

【テキスタイルの箱舟】はノアが様々な種を載せて大洪水を乗り切ったように、テキスタイルのクリエイションに関する諸々の種をギュッと詰めて出航しました。各産地の素材、工場独自の技法を羅針盤に、アイデアという航路を練り、新しい表現を求めて試作という【航海】を続ける全10回のサーフェイスコレクションプロジェクトです。この度第1回【寄港】の地 CASE GALLERY に錨を下ろしました。海のように深く豊かなテキスタイルの世界に関わるたくさんの人とつながり、新しい航路を発見するプロジェクトに育てていきたいと思います。

---



## Deer【シカ】



texture / ぼつぼつ

composition / wool, linen

tecniqe / weaving + needle punch + tie-dye

先染織物 + ニードルパンチ × 絞染

世界に広く分布するが、ニホンジカは日本固有種。そのトレードマークであるぼつぼつの斑点。白い不規則な水玉を、布に象嵌し、その後ふっと浮き出したような、自然発生的な柔らかさと湧き出る凹凸感をパターンに加えた表現。特注のリネンウールガーゼはシャッキリふんわり軽く温かく扱いやすい。



wear  
one-size-fits-all



cushion  
size 50×50cm



stole  
約 200×50cm  
color BR.NV

## シカテキスタイルのつくりかた



1. 特注リネンウールガーゼ  
[森菊・蒲郡]



2. チャコでくるくるマーキング



3. 原毛(羊毛)をまるくして



4. ニードルパンチ加工  
[TEX BOX. 桐生]



5. 逆目のある針で繊維を絡める



6. 原毛と基布がひとつの生地になる



7. 絞る、手でひとつづつ



8. 絞りが取れないようゆっくり染色  
[オカダ染色工業・八王子]



9. 絞りははずし丁寧に幅出し  
[大恵・八王子]





## Elephant [ゾウ]



texture / しわしわ

composition / linen.paper

tecnicue / weaving + hand print×bonding print

先染織物+手捺染×ボンディングプリン

最大の陸生哺乳類。密猟や生息地の破壊で個体数は減少している。体中シワシワだが、足裏にも指紋のようにシワがあり個体識別ができる。ザックリとしたリネンガーゼに和紙を加えることで、布でありながら布を超えた上質なラフ感を表現。自然乾燥ならではの独特の凹凸感も特徴。



wear  
one-size-fits-all



cushion  
size 50×50cm



stole  
約 200×50cm  
color BK.WH

## ゾウテキスタイルのつくりかた



1. リネンガーゼ  
[森菊・蒲郡]



2. シルクスクリーン型



3. プリント台 全長25m  
[なかにし染工・湖南]



4. シルクスクリーン ハンドプリント



5. 美濃和紙、白と黒



6. 一枚づつ和紙をはる



7. 手で丁寧にのばす



8. ウィンス  
余分な和紙を洗いおとす



9. 自然なシワが出るように 吊干して乾燥